

## 平成26年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> ■	<b>評価対象</b> ■	<b>新規</b> □	<b>完了事業</b> □	<b>ゼロ予算事業</b> □	<b>担当者</b>	松下峻也
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3414
<b>事務事業名</b>	4160 鳥獣被害防止対策事業						
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課						
<b>施 策</b>	05012200 農業の活性化						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費					
	<b>事業</b>	020000 鳥獣被害防止対策事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
地域、集落の現状と出没鳥獣の全体を把握し、最も有効な手立て（電気柵、わな、檻、緩衝帯整備など）を検討し、鳥獣被害を最小限に留め、農業者の営農意欲の持続に勤める。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・サル・イノシシ用の電気柵・防護柵購入</li> <li>・森林整備事業に関する事業</li> <li>・有害鳥獣駆除業務</li> </ul>			

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
電気柵17.75km設置 緩衝帯整備11.65ha実施	電気柵0.9km設置 緩衝帯整備4.4ha実施
平成26年度 予定	平成27年度 予定
電気柵7.1km設置予定 緩衝帯整備5.7ha実施予定	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		14,695	71,060
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	3,469	26,234
	地方債	0	0
	その他	380	380
一般財源		10,846	44,446
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.3	1.4
総額		14,695.0	71,060.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,404	
11節 需用費	464	
13節 委託費	3,692	
15節 工事請負費	497	
19節 負担金補助及び交付金	4,600	
その他	3,038	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	5,205	
11節 需用費	465	
13節 委託費	6,275	
15節 工事請負費	28,000	
19節 負担金補助及び交付金	7,775	
その他	23,340	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	農業生産地域にとって鳥獣被害は死活問題であり、近隣の市では個々に電気資材の補助を農家に行っているが須崎市では、区単位で対策委員会を作ってもらい地域を囲むようにしている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	今まで、イノシシの被害によりタケノコが食べられなかったが、今年はたらふく食べられた。干し柿がサルにやられていたが、やられなくなった。等の効果は上がっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	資材は市で提供し、施工は地元施工によるところが多い。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

補助金の見直し（減額）に伴い、事業実施箇所の見直しをせざるを得なかった。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>地元から早く進めてほしいという要望はあるが、地元の中で管理についてとまらない部分がある。地元の主体性によるところが多い。</p>		<p>関係団体等との連携により、その計画的な対策実施により、一定の効果がある。今後の維持管理においても、団体等との協議を重ね、施設の効果が続いて発揮できるよう引き続き対策を講じていく。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	